



2005 ITU International Triathlon Event Makuhari

2005 ITU インターナショナルイベント幕張大会

2005 NTT Triathlon Japan Cup 2nd Stage

NTTトライアスロンジャパンカップ第2戦

12 June 2005



忽那静香、細田雄一、ともにジャパンカップ初優勝を飾る

2005NTT トライアスロンジャパンカップ幕張大会は、6月12日(日)、千葉県幕張新都市特設コースで行われた。

午前7時30分スタートの女子は、薄い霧が海上を覆うなか始まった。先行したのは中島千恵(東京都連合)、続いたのは忽那静香(日東紅茶 TEAM KEN'S A&A)に太田麻衣子(東海大学)、サラ・モニス(ポルトガル)。地元期待の上田藍(グリーンタワー・稲毛 ITC)は、13位と出遅れた。バイクでは、スイムを早くあがった忽那らが逃げにかかったが第2集団のスピードが速く、第2集団が第1集団に追いつくと12名の集団のまま、ランへ入った。そこで飛び出したのは忽那、上田、田中敬子(福岡県連合)、高橋梨香(トヨタ車体)。そのなか忽那が徐々にリードして、ジャパンカップ初優勝を果たした。忽那は、「ランの練習の距離をのばした。走れば走るだけいい結果が出る」と苦手のラン克服に自信を深めたようだった。2位には、競り合って高橋が入り、田中も粘って3位となった。上田は、故障を抱えながらも頑張り、5位に入った。上田は、「脚のケガでスピード練習ができなかったのが敗因。来週の和歌山大会も、調子を整えて挑戦します」と、悔しさをにじませた。

9時ちょうどのスタートとなった男子は、スイムから混戦模様。最初に水から上がったジョー・カバレイロ(ポルトガル)から1分以内に16名が入り、そのままバイクへ。バイクでは序盤から16名の集団で推移した。3週目に山本良介(トヨタ車体)がエスケープを図ったが、2周回を残して細田雄一(グリーンタワー・稲毛 ITC)と長谷川裕一(東京都連合)が追いつき、後続に約1分の差をつけてランへと移った。ランでは、長谷川と山本が後退するなか、ブルノ・パイイス(ポルトガル)がじわじわと追い上げた。しかし細田はパイイスの追走をかわし、完全な独走態勢を築いてジャパンカップ初優勝を飾った。細田は、「初優勝なので、すごくうれしい。最後まで気持ちが切れなかったのがよかった。バイクの終盤で、積極的に前へ出たのが勝因」と手放しの喜びを示した。2位は、パイイス。3位には、バイク終了時17位から追い上げた益田大貴(湘南ベルマーレ)が入った。

同時に行われたジュニアスプリントトライアスロン(20歳未満・総合距離25.75km)では、女子が蔵本葵(東京ヴェルディ)、男子が比嘉和真(チームゴーヤー)が優勝した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

